尾張都市計画下水道の変更 (小牧市決定)

都市計画小牧公共下水道「2.排水区域」を次のように変更する。

2. 排水区域

「排水区域は総括図表示のとおり」

[参考] 雨水 約2,917ha、 汚水 約2,917ha

理 由

本市は、昭和48年に公共下水道の当初都市計画を定め、今日まで鋭意事業の進捗に努めてきた。

今回の変更では、令和6年度に市街化区域に編入された区域について、下水を排除し、都市の健全な発展及び公衆衛生の向上、公共用水域の水質の保全を図るため、雨水については、大山川左岸第4排水区約26ha を拡張し、汚水については、小牧原処理分区約26ha を拡張することにより、都市の健全な発展に寄与するものである。

1. 都市の将来像における施設の位置付け及び都市計画の必要性

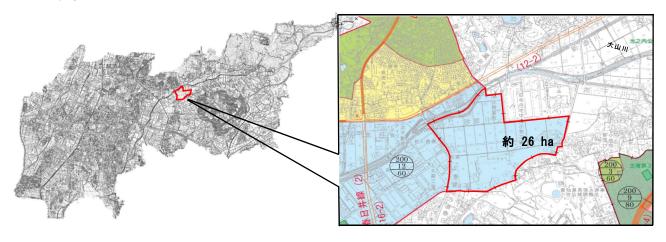
下水道とは、主として市街地における下水を排除し、都市の健全な発展及び公衆衛生の向上、公共用水域の水質の保全を図るため必要な施設であり、小牧市における下水道は、昭和48年に公共下水道の当初都市計画決定を定め、鋭意その整備(雨水・汚水)を進めています。

本市では、市の最上位計画となる「小牧市まちづくり推進計画 第2次基本計画」において、下水道の整備・普及により、衛生的で快適に暮らせるまち、誰もが安全・安心に暮らせるまちを目指しています。汚水については、効率的、計画的に下水道整備を進めるとともに、公共下水道への接続を促進します。雨水については、浸水被害の軽減を図るため、雨水幹線や排水路の整備を順次進めています。

また、都市計画法第4条第5項及び第11条第1項第3号において、都市施設として下水道を定めることができるとされており、その中でも同法第13条第1項第11号において、市街化区域については、都市施設として少なくとも下水道を定めるものとされております。都市計画に定める事項としましては、名称、排水区域、下水管渠及びその他の施設となりますが、今回の変更では、令和6年度に市街化区域に編入された区域、約26haを排水区域に追加するものであり、雨水については大山川左岸第4排水区、汚水については小牧原処理分区をそれぞれ拡張します。

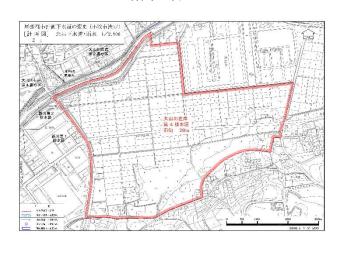
2. 位置・区域の妥当性

(1)位置



(2) 計画図

<雨水 約 26ha>



<汚水 約 26ha>



当該区域は、これまで既存工業用地に隣接する市街化調整区域であり、小牧市都市計画マスタープランにおいて「産業候補地区」に位置付けられており、必要に応じて計画的な産業系市街地の形成を図ることとしておりましたが、令和6年度に民間事業者による開発計画が進み、土地利活用の熟度が高まったことから、市街化区域に編入されました。

そうした中、当該区域を個別で検討を行った結果、汚水については、前面道路に下水道本管が埋設されており、下水道で整備することが合理的かつ効果的であると判断できることから、各市町村が地域ごとに適正な整備手法を選定し、これを愛知県がとりまとめた、汚水処理施設の整備、運営管理に関する総合的な構想である「全県域汚水適正処理構想」を、令和6年度に変更しました。また、雨水については、特定都市河川流域に指定されており、特に浸水被害軽減対策が必要な区域となっていることから、排水区域を拡張します。

尾張都市計画下水道の変更(小牧市決定)

事巧	頁	時	期	備	考
公聴	会	_		※申立書の打ったため中」	
事 前 協	議	令和7年7	月 30日		
事前協議[可 答	令和7年8	月 28日		
計画案の	従覧	令和7年9月2 令和7年9月2		縦覧者 2名 意見書の提出((有無)
市都市計画審	議会	令和7年10月17日			
知事への	劦 議	令和7年10	0月下旬	以下予定	
知 事 回	答	令和7年1	1月下旬		
決 定 告	示	令和7年12	2月中旬		

